

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号, 法人名, 事業所名, 所在地, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日. Contains details for 0174300327 認知症対応型共同生活介護.

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, URL address: http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_Q22_kihon=true&JigyosyoCd=0174300327-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日. Details for 特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット.

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家族会としての組織的な活動は中々行われておりませんが、行事等があると参加して頂き利用者さんとスタッフ、家族間で良い関係が継続出来ている。その為施設側の困り事やお願い事等が相談しやすい環境なので良いケアに繋がると考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は釧路町の最西端、釧路市との境に位置し、周囲は戸建の住宅が並ぶ静かな住宅地であるが、一方では大型ストアやショッピングモールも徒歩圏内であり、住宅地の拡大に伴って商業地も形成された地域で、交通や買い物等の利便性が高い一面に立地している。事業所は他に幾つかの介護事業を運営している法人本社と同じ敷地内で、建物は病院を改築した2階建て、各階にそれぞれ1ユニット、計18人の高齢者が生活をしている。当事業所の秀でた点は、2003年の開設以降、着実に積み重ねてきた地域との信頼関係が挙げられる。事業所はここ数年来、町内会の役員を担っており、役員として町内会行事を裏方として支え、盆踊りやお祭り等は利用者と共に参加し、町内での防災訓練実施、地元中学・高校の実習生講習や各種ボランティアの受け入れ、認知症カフェへの取り組みなど、地域密着型介護事業所の専門家として介護相談等の必要な役割を担っている。また近所の幼稚園児の訪問も多々あり、利用者も園児との触れ合いを楽しみにしており、地域の活力を引き出しながら、利用者の喜びにも応えている当事業所の今後に、おおいに期待したい。

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Contains 10 rows of evaluation items (No. 56-65) regarding staff, user participation, and support.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月の会議等、話し合いを重ね事業所独自の理念を理解している。	理念について、以前からの理念の基本を残しながら職員で新しく5項目に再編し、事業所内に掲示して利用者や家族、職員と関係者に示し、実践に活かせるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の新年会や敬老会、盆踊り等参加し日常的に交流している。	開設後16年が経過し、地元町内会の婦人部を任されており、町内での種々の会合や行事にも出席し、重責を果たしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の会合に参加し認知症の啓発に努め介護に携わる人材を育てる為実習生を受け入れ又ボランティアの協力も頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に参加して頂いている方々から質問・意見・要望等出して頂き、地域活動へ参加できるようにしている。	行政や家族、地域の各関係者、訪問看護等々の参加により運営推進会議は定期開催され、避難訓練や各種行事の報告がなされ、質問や意見を交わしながら、サービスの質向上に努めている。	運営推進会議は、第三者に開かれた論議・報告が前提となっているため、定期開催に心がけ、また内容も行事報告に留まらずにヒヤリハットや事故報告も議案に盛り込み、議事録も利用者宅まで送付し、より一層事業所の理解促進に傾注するように期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議はもちろん野外昼食会・クリスマス会等行事、又避難訓練にも参加頂き協力関係を築いて取り組んでいる。	行政とは、各種の相談や制度の運用、法の疑似解釈等で指導を受け、また事業所が行うクリスマス会や昼食会等の行事にも、休日にも拘らず参加があり、信頼性の高い関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を作り毎月話し合いをしているが、奥が深く難しい問題だが、安全に取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設置し、2～3月に一度開催し、抑制につながる事例等を検証し、直近の会議で職員に周知し、運営推進会議でも報告している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の会議や勉強会で学ぶ機会を持ち徹底した指導のもと高齢者虐待防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	青年後見制度の事は会議等で話し合いをしているが全職員が理解できていないので今後も勉強会等をして習得に努めたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分説明し納得頂いている。冬季光熱費、暖房費の増額についても理解して頂き同意書をいただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情、意見があった時は速やかに会議やケースカンファレンスで検討し改善に努めている。	利用者個人の日々の様子を担当職員が記した、めぐみ野通信を毎月写真掲載で発行しており、家族から好評を得ている。また来訪時にも詳しく伝えながら、意見や苦情を聞き取り、今後のサービスに反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の際又は個人面談にて意見を聞き反映させている。	何でも何時でも話が出来る職場になるように、日頃から風通しの良い関係を築いており、提案があれば介護現場等で検討し、よりよいサービスになるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力、勤務状況が把握されず給与、やりがい等 各自向上心が持てていないのでは。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修にはなるべく多くの職員が受講できるようにし、会議で研修報告して職員全員で共有する。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交換研修、他グループホーム間の交流、意見交換・研修会をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者家族様の聞き取り調査、資料に基づき安心して頂ける様スタッフ全員が心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人は基より家族の意向を聞き、出来る事をやらせて頂くことを伝え、意見・要望を言って頂いて関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	聞き取り調査を行ない小さな事でも見逃さないようにスタッフ全員で対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩である利用者様に敬う心を持って一緒に生活し信頼関係を築くよう心掛けている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活の様子を毎月通信という手紙で写真や出来ごとを書き家族へ伝え共に支えて頂けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の話を聞いたり希望があれば出掛けるなどして出来る限り支援させて頂いている。	昔からのお店や食堂、よく見ていた町の風景、友人やお仲間達との出会い等、家族の協力を得ながら関係性が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の性質を見極めスタッフが共有し同じ姿勢で接し、利用者様同士がコミュニケーションとれるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も連絡を取り支援できるよう心掛けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の思いや意向は様子や発言を気に欠けその人らしい暮らし方を尊重している。	利用者ひとり一人の生活を支援していく中から、好きな事や嫌な事、思いや要望、願いを把握して本人本位の日常になるよう、努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	毎月の会議、カンファレンスで生活環境、他者との関係等話しあっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり一日の過ごし方を見守り、体調の変化等あればスタッフ間で共有し改善に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議、カンファレンスで話し合い現状を把握し本人・家族とも話し合い、より快適に過ごせるよう心掛けている。	モニタリングとカンファレンスを行い、家族の希望と医療のアドバイスを受けながら、介護計画を作成している。体調の変化や病気等により差異が生じた場合は、すぐに対応・変更し、実情にあった介護計画を作成、実行している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録、連絡ノートを活用しスタッフ間の申し送りを徹底している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の方と話し合い素早く対応出来るよう心掛けている。スタッフ間での情報共有し取り組めるよう心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議の中で避難訓練等、定期的に行わない地域との協力を深めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族が納得する医療機関で適切な医療を受けられるよう、良い関係を築いて築いている。	かかりつけ医は本人・家族の希望を尊重し、定期受診は家族同行もあるため、受診連絡票にて日々のバイタル等を医療側に伝え、安心できる適切な医療体制を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2週間毎に訪看が来訪し相談したり、指示等は連絡帳でスタッフ全員で周知している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はスタッフも医療機関へ出向き状況をしっかり伝える。退院に備えて家族、医療関係者情報交換を行ないアセスメントを行なう。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に説明しているがホームとして何処まで出来るかを色々なケースを考え勉強する必要がある。	重篤になった場合の終末期介護は、利用者や家族の意向を踏まえながら、希望に沿えるよう努めており、医療面での充実や介護職員の看取り研修を行いながら、最後まで支援できるように取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防へ依頼しスタッフ全員が定期的講習をうけている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議で夜間・日中を想定した避難訓練を地域の方にも参加して頂き定期的に行なっている。	避難訓練は火災を想定し、年に2回消防署の指導の下、地域住民や町内会の役員も参加しながら実施している。電源を必要としない冬季の暖房機材も用意し、不意の災害に備えている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を尊重し一人ひとりに合う対応を心掛けている。	接遇は介護の基本であり、礼節について十分に配慮し介護に携わっている。車いすでのトイレ利用は、奥のブースを使い、プライバシー確保に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者さんの思いや意向は様子や発言常に気にかけて一人ひとりの暮らし方を尊重、話を傾聴しその人らしさを発揮できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者さん一人ひとりのペースに合う生活を大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型・服装等一緒に考え、生活に張りがもてるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各自の好き嫌いを把握し対応している。食後の片付け、盛り付け等出来る事を一緒にやっている。	事前の献立はなく、利用者の希望とその日の食材を考慮してその都度食事支援を行っている。またできる方にはお手伝いもお願いし、職員も同じ食事を同じテーブルで摂り、楽しい食卓になるよう努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のバランス良く提供を心掛けているが、一日の水分量が不足がちな為、飲んで頂けるような支援を心掛けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、就寝前の口腔ケア、義歯洗浄、消毒を行い、自立されている方には声掛けを心掛けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	チェック表を確認し時間を見て、個々のパターン・習慣を活かし声掛けトイレ誘導している。	排泄はトイレで、を基本とし、時間誘導や仕草でのサインを見逃さず、自然で無理のない排泄になるよう、支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事バランス、水分量に気を配り昼食時ヨーグルト果物やえたり、乳酸菌飲料水等提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴順番を決めているが本人の希望に添えるようにし体調に合わせて対応している。	毎日、浴槽にはお湯を溜め、毎日入れる体制で臨んでおり、一日には2~3人程度の入浴のためゆっくりとお風呂を楽しんでもらい、また一人につき週に2~3回程度の入浴を実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中居室で横になったり安心して自由に過ごして頂けるよう、又夜間も安眠できるよう支援に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診後、家族さんから薬の変更・注意事項等がないかを聞き、処方と薬をチェックしている。服薬時も誤飲のないようダブルチェックし確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	タオル・洗濯物たたみ等一人ひとりに合った役割お手伝いをお願いし、外出や庭の手入れ等も生まれ気分転換出来る様いる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や外出等希望に対応したいが添えていない現状がある。	外出レクとして桜や紅葉等の季節のドライブを行なっている他に、家族の協力を得ながら墓参、外食等の外出を支援している。また近隣の散歩は日常的に行っており、近所住民との何気ない交流も利用者の楽しみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族・本人の承諾にて施設側での預かりだが、一緒に買い物や外出し楽しみながら出来るようつとめている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	字を書いたりが困難な方が多い為、希望があれば電話をかける等対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天候、希望に合わせてカーテンの開け閉め、楽しめるようなテレビ番組を選び音にも気を配っている。	建物は旧病院を利用しており堅牢な造りとなっているが、利用者の行事写真が貼られたり季節の飾りつけ等で、和やかな雰囲気となっている。居間兼食堂も広く、開放的であちこちに置かれたソファに座り、居心地の良い時が過ごせる様に工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にソファを置き、好きな場所に座ったり、他者との会話を楽しんで過ごせる様工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物等本人の好むよな物を出来るだけ置くようにしている。	居室には、昔馴染みの家財や小物類がそれぞれ思うままの配置で置かれており、落ち着いた雰囲気が感じられ、ゆっくりと過ごせるよう工夫がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりが認識出来るよう張り紙で案内したり、居室には表札を付け分かりやすいよう支援している。		